

近世・近代社会経済資料（古文書）デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する近世・近代社会経済資料のうち、古文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。文書原本の朱書や裏書、端裏書、裏継目印、前欠・中欠・後欠の部分、丁間に挿入された文書や脱落した付箋については、画像内に「朱書」「裏書」「端裏書」「裏継目印」「前欠」「中欠」「後欠」「挿入文書」「脱落付箋」などの置き札を写し込んであります。また、原本が破損し撮影が不可能な場合や、白紙が何枚も続く場合には、「以下破損につき撮影不能」、「以下〇丁白紙につき撮影省略」などのターゲットで明示してあります。
- (5) 画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものととして了解下さい。写りの悪い文書については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (6) 文字間のコントラストの差が大きなものについては、視認性を高めるために、照明を調整して複数回撮影しています。この場合は、同一の丁の画像が複数枚連続して表示されます。
- (7) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (8) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 25 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 258061 の交付を受けて作成しています。

70 1 2 3 4 5 6 7 8 9 80

待 外 寄 券 類 延 長 帳 簿

東大
5
12

御講御連名控帳

安政
写

経済学部
研究室
5
1295

安政六年

東洋大学
経済学部
39049

経済学部
研究室
5
1295

定

一天照大神之所通之萬事
大切成中事之山皆新之
中方之集出城以結成山
高身之四方行其厚列山
貴人自然之容易古也
結成山皆通物之山
結成山皆通物之山

一 御代講を懐かす事
以て先生公業の御免許
多之西に申す御免許
白涕に前後の時先生
御代講例を以て御免許
御代講例を以て御免許
御代講例を以て御免許

一 後合神文の御免許
とし先生の御免許
三月御免許の御免許
御免許の御免許
天命の御免許
御免許の御免許

一 御代講の御免許
七條御免許の御免許
御免許の御免許

出動了成山若津通宵
山出方由在の均と先津入
山出方由急交出利解
了成山其月御所入し意
出方由通し急付由出會

山出方の成り事

附の海新御所御所
意出方由急し至親之
了物分相出いし他今
し事付急波の急心
急事右急傳急出守

天倉連名

傳前

西尾松太郎
及田物次
三橋おゆ
山田道之進
和氣播磨
長瀬常太郎
中野常太郎
時尾克太郎
東金松蔵

西内朱藏
美任正作
尾形晋治郎
佐中

河本泰助
泷原一守
尾原惠信
中京尾原
富原光五郎
佐后
藤長門
岡古三郎

佐次
吉田貞吉

野上常刀
小林右兵衛
杉原馨一
吉原助五郎
山本順助
吉本宗平
山中重藏
杉山繁藏
杉山伴信

楊山仙翁
楊玉峯
福清傳七

因
謝大臣

伯良

真宮河内
唐梅傳志
永末
老羞
伯仁古

楊
若京
漢路

弟
許平
是病

別
松
吉
助

天
傳
示

東城保
海野傳
傳井園
阿能一

河崎右伸
 平尾新造
 福屋
 橋屋
 田邊和也
 中井又吉
 西尾
 大田
 角南作
 長崎新治
 神崎信常
 佐屋平八
 寫住礼三
 實金平次
 中山仙治
 白出吉
 加藤
 中山
 中山
 中山

嘉平 幸志

東田 惟治

小野 越前

西村 博門

西本 守清

牟後 直

夏田 如城

河本 平外

清田 普助

高平 清吉

唐 海

高橋 茂松

大橋 祐吉

有馬 河泰助

赤松 三市

清水 辰治

川崎 幸藏

中平 孫三右

松尾 利助

堀井 軍平

佐後

佐中

作系

國宗大和

上野常隆

中多志之助

村彦治

新吉

田部重隆

杉山仙之助

佐藤信吉

安藤重吉

石川重隆

佐藤秀助

國宗

河津重隆

長谷川重隆

伊本之助

三田重隆

吉田重隆

佐藤重隆

作系

伊本重隆

永末重隆

吉原重隆

徳田重隆

梅村重隆

本頁自落年
念光法書
若村法書
石京中代藏
今在東京
原系
言指
其
後
此
天
幸
岩田文年
白根信年
中治自藏
權
今井宗古
精元
若田文年
板田九三
古夜
出部

泉
和泉
与
紅名
たす

源

玉川夜在

村与平

集

仙友と云



右修く重所蔵

のり成いむ所集りし由方
由集所目録含く此を
又新古由動のり成い
君所と弟く言を在
清通所重のり成い

題

GANSHODO-SHOTEN
KANDA TOKYO
店書堂松巖



